

【医薬品・医療機器開発への取組】 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応

資料1-4-1
 科学技術・学術審議会
 研究計画・評価分科会
 (第65回) H30.8.20

研究開発計画:

大目標

健康・医療戦略推進本部の下、健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画に基づき、国立研究開発法人日本医療研究開発機構を中心に、オールジャパンでの医薬品創出・医療機器開発、革新的医療技術創出拠点の整備、再生医療やゲノム医療など世界最先端の医療の実現、がん、精神・神経疾患、新興・再興感染症や難病の克服に向けた研究開発などを着実に推進する。

大目標達成のために必要な中目標

「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」等に基づき、医薬品・医療機器開発への取組：医薬品創出のための支援基盤の整備等により、革新的医薬品・医療機器開発を推進する。

2012 (FY24)	2013 (FY25)	2014 (FY26)	2015 (FY27)	2016 (FY28)	2017 (FY29)	2018 (FY30)	2019 (FY31)	2020	2021	2022	2023
	前	中		後 前			中		後		
創薬等ライフサイエンス研究支援技術基盤事業 (創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業/ 生命動態システム科学推進拠点事業) ターゲットタンパク研究プログラム等により整備された技術基盤の更なる高度化と、積極的な外部開放(共用)等を行い、革新的創薬プロセスを実現する。 ※2011年度は創薬等支援技術基盤プラットフォームとして実施					創薬等ライフサイエンス研究支援技術基盤事業 我が国の優れた基礎研究の成果を医薬品等としての実用化につなげるため、創薬等のライフサイエンス研究に資する高度な技術や施設等を共用する創薬・医療技術支援基盤を整備・強化して、大学・研究機関等による創薬標的候補等の創出を支援する。						
	前				中	後					
革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業 我が国発の革新的な次世代バイオ医薬品創出に貢献するため、大学等における革新的 基盤技術の開発を推進する。						先端的バイオ創薬等基盤技術開発事業 先端的医薬品等開発における我が国の国際競争力を確保するため、アカデミアの優れたシーズを用いてバイオ創薬や遺伝子治療に係る革新的な基盤技術を開発するとともに、要素技術の組合せ、最適化による技術パッケージを確立し、企業導出を目指す。					
						前			中		後

創薬支援により新たに創薬シーズが見つかった件数

「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」等に基づき、革新的医薬品・医療機器開発に資する研究開発を着実に実施する。

【研究開発の環境の整備や国際的視点に基づく取組】健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応

研究開発計画:

大目標

健康・医療戦略推進本部の下、健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画に基づき、国立研究開発法人日本医療研究開発機構を中心に、オールジャパンでの医薬品創出・医療機器開発、革新的医療技術創出拠点の整備、再生医療やゲノム医療など世界最先端の医療の実現、がん、精神・神経疾患、新興・再興感染症や難病の克服に向けた研究開発などを着実に推進する。

大目標達成のために必要な中目標

「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」等に基づき、ライフサイエンス研究基盤の整備、国際共同研究等の取組を推進する。

「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」等に基づき、ライフサイエンス研究基盤の整備や国際共同研究等の取組を着実に実施するとともに、超少子高齢化社会を迎える我が国の情勢等を踏まえ、予防医療にも貢献する老化のメカニズム解明・制御の基礎研究の推進及び研究基盤の構築等の取組について実施する。

2012 (FY24)	2013 (FY25)	2014 (FY26)	2015 (FY27)	2016 (FY28)	2017 (FY29)	2018 (FY30)	2019 (FY31)	2020	2021	2022	2023
				前			中		後		
<p>老化メカニズムの解明・制御プロジェクト</p> <p>老化遅延による健康寿命の延長を目的として、老化そのものを加齢関連疾患ととらえ、老化メカニズムの解明、制御を目指す基礎研究を体系的に実施するとともに、疾患への応用・人材育成等を包括的に推進する。</p>											
▽	▽	▽	▽			中			中		
<p>医療分野研究成果展開事業</p> <p>先端計測分析技術・機器開発プログラム、研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)、戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)、産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)で構成されており、これらのプログラムを通じて、大学等で行われる「科学技術の基礎研究」と、企業で行われる実践的な「応用研究・開発」とをつなぎ、将来のイノベーションが期待される科学技術のシーズの実用化を推進する。</p>											
			中		後前		中		後		
<p>ナショナルバイオリソースプロジェクト(第3期)</p> <p>実験動物等の研究材料について収集・保存・提供を行う拠点を整備するとともに、国内外の大学及び研究機関等に提供することにより、質の高いライフサイエンスの研究の推進に貢献する。</p>					<p>ナショナルバイオリソースプロジェクト(第4期)</p> <p>国が戦略的に整備することが重要なバイオリソースについて、体系的な収集・保存・提供等の体制を整備し、品質の確保された世界最高水準のバイオリソースを大学・研究機関等に提供することにより、我が国のライフサイエンス研究の発展に貢献する。</p>						

提供した実験動物・植物等を用いて発表された論文数